



## 中国地方整備局入札監視委員会（第一部会）審議概要

|                         |   |                                     |
|-------------------------|---|-------------------------------------|
| 開催日時及び場所                | 平成29年 9月26日（火） 14時30分～17時00分<br>中国地方整備局 建政部 3階会議室   |                                     |
| 委員                      | 部会長 河合 研至（大学院教授）<br>部会長代理 水中 誠三（弁護士）<br>委員 近森 秀高（大学院教授）<br>委員 福田 和恵（公認会計士）<br>委員 村上 恵子（大学准教授） |                                     |
| 審議対象期間                  | 平成29年4月1日 ～ 平成29年6月30日  |                                     |
| 抽出案件                    | 総件数 8件  | （備考）<br>審議対象工事等の案件については、<br>別紙1のとおり |
| ○工事                     |   |                                     |
| 一般競争入札方式<br>（WTO対象）     | 1件  |                                     |
| 一般競争入札方式<br>（WTO対象外）    | 4件  |                                     |
| ○建設コンサルタント業務等           |   |                                     |
| 簡易公募型競争入札方式             | 1件  |                                     |
| 標準プロポーザル方式              | 1件  |                                     |
| ○役務の提供等及び物品の製造等         |   |                                     |
| 一般競争入札方式                | 1件  |                                     |
| 委員からの意見・質問、<br>それに対する回答 | 意見・質問   | 説明・回答                               |
|                         | 別紙2のとおり   | 別紙2のとおり                             |
| 委員会による意見の具申<br>又は勧告の内容  | なし  |                                     |

## 別紙 1

## 抽出事案一覧

(期間 平成29年4月1日～平成29年6月30日)

## 【工事】

○一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事

| 工事名            | 工事種別   | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日      | 契約の相手方  | 契約金額(千円)  | 落札率(%) | 備考      |
|----------------|--------|----------------|--------|------------|---------|-----------|--------|---------|
| 静岡仁摩道路宅野トンネル工事 | 一般土木工事 | 10             | 10     | 平成29年5月19日 | 大成建設(株) | 4,102,888 | 90.04  | 松江国道事務所 |

○一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの

| 工事名                    | 工事種別            | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日      | 契約の相手方       | 契約金額(千円) | 落札率(%) | 備考          |
|------------------------|-----------------|----------------|--------|------------|--------------|----------|--------|-------------|
| 百間川河口水門ゲート設備開閉装置整備工事   | 機械設備工事          | 1              | 1      | 平成29年5月18日 | (株)IHIインフラ建設 | 271,080  | 99.65  | 岡山河川事務所     |
| 鳥取管内道路情報表示設備外工事        | 通信設備工事          | 4              | 4      | 平成29年6月6日  | 星和電機(株)      | 180,792  | 90.70  | 鳥取河川国道事務所   |
| 一般国道9号北条バイパス災害応急復旧第2工事 | セメント・コンクリート舗装工事 | 10             | 10     | 平成29年6月12日 | (株)ガイアート     | 155,520  | 92.61  | 倉吉河川国道事務所   |
| 広島労災特別介護施設機械設備改修工事     | 暖冷房衛生設備工事       | 2              | 2      | 平成29年5月30日 | 塩田工業(株)      | 28,188   | 94.33  | 中国地方整備局(本局) |

## 【建設コンサルタント業務等】

○簡易公募型競争入札方式

| 業務名               | 業種区分            | 手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数 | 入札参加者数 | 契約締結日      | 契約の相手方         | 契約金額(千円) | 落札率(%) | 備考       |
|-------------------|-----------------|----------------------------------|--------|------------|----------------|----------|--------|----------|
| 大山砂防自然環境調査(両生類)業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 4                                | 4      | 平成29年4月14日 | (株)荒谷建設コンサルタント | 20,995   | 78.51  | 日野川河川事務所 |

○標準プロポーザル方式

| 業務名            | 業種区分            | 技術提案書の提出者の選定数 | 技術提案書の提出者数 | 契約締結日     | 契約の相手方    | 契約金額(千円) | 落札率(%) | 備考        |
|----------------|-----------------|---------------|------------|-----------|-----------|----------|--------|-----------|
| 福山管内道路整備効果検討業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 5             | 4          | 平成29年5月8日 | 復建調査設計(株) | 32,983   | 100.00 | 福山河川国道事務所 |

## 【役務の提供等及び物品の製造等】

○一般競争入札方式

| 業務名           | 業務分類    | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日     | 契約の相手方  | 契約金額(千円) | 落札率(%) | 備考       |
|---------------|---------|----------------|--------|-----------|---------|----------|--------|----------|
| 太田川管内電気通信施設保守 | 役務[その他] | 3              | 3      | 平成29年4月3日 | (株)ケーネス | 32,076   | 58.53  | 太田川河川事務所 |

| 意見・質問   | 説明、回答  |
|---|--|
| 1. 報告及び審議   |  |
| (1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告   |  |
| <p>1) 入札方式別発注工事<br/>2) 入札方式別発注業務<br/>3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等<br/>4) 指名停止等の運用状況<br/>5) 談合情報等への対応状況<br/>6) 再度入札における一位不動状況<br/>7) 工事種別毎の低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況</p> <p>Q 1. 契約不履行により元請業者と一次下請業者に指名停止措置を行っている案件について、二次下請業者に対しては指名停止措置を行わないのか。</p> | <p>A 1. 指名停止措置は、中国地方整備局の競争参加資格を有している業者に対して行うものであるが、二次下請業者は無資格業者のため指名停止措置の対象ではなかった。</p>   |
| (2) 抽出事案審議  |  |
| <p>1) 静岡仁摩道路宅野トンネル工事</p> <p>Q 1. 入札参加業者の中で一次審査結果順位が最下位の業者が落札業者となっているがなぜか。</p> <p>Q 2. 落札業者は、一次審査の配置予定技術者の能力について低い評価となっているが、工事の施工に支障は無いのか。</p> <p>Q 3. 業者を段階的に選抜していく入札方式は頻繁に実施されているのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>                       | <p>A 1. 一次審査では企業の施工実績と配置予定技術者の能力を評価しており、当該業者は配置予定技術者の能力の評価が低かったことから一次審査結果の順位が低くなっている。二次審査の総合評価では施工体制、技術提案、入札金額を総合的に評価し落札者を決定しており、当該業者の技術提案の評価が非常に高かったため、一次審査結果の順位は最下位であったが結果的に落札業者となった。</p> <p>A 2. 二次審査の技術提案により評価をしており、工事の施工に支障は無い。</p> <p>A 3. 年間に1件程度である。</p> |
| <p>2) 百間川河口水門ゲート設備開閉装置整備工事</p> <p>Q 1. 1者応札となっているが、既に完成している部分の入札も1者応札か。</p>   | <p>A 1. 1者応札で今回と同じ業者が落札している。</p>   |

|  |  |
|--|--|
| <p>Q 2. 多数の業者が参加できるよう、参加資格の要件を緩和できないのか。</p> <p>Q 3. 水門の製造工事を行った業者は今回の落札業者と同じか。</p> <p>Q 4. 残りの部分の発注について、1者応札対策として何か検討をしているか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>   | <p>A 2. 前回工事が1者応札だったのを踏まえ、発注規模の拡大、工期の拡大、施工実績で求める同種工事等の要件の緩和を行ったが、今回も結果的に1者応札となった。</p> <p>A 3. 今回の落札業者である。</p> <p>A 4. 今回の入札手続において、資料をダウンロードしたにもかかわらず入札に参加しなかった業者等にその理由をヒアリングしている。その結果、「技術者数が限られている中で多くの工事に参加する状況にない」「他社が製造した水門に部分的な修繕をするには高度な技術が必要になるのではないか」という懸念がある」「故障が発生した場合に製造した者と修繕した者との責任の所在が不明確になるのではないか」という危惧がある」「中国地方整備局が公表している発注見通しを参考に応募の計画を立てているので、公表直後に発注される工事には対応できない」といった意見があった。これらを踏まえ、「早めに発注予定を公表する」「既設設備の整備工事においては、責任の所在が明確になるように工事範囲を設定する」「参考資料として施工方法を示す」といった対応を検討することとしている。</p> |
| <p><b>3) 鳥取管内道路情報表示設備外工事</b></p> <p>Q 1. 競争参加資格で求めている施工実績について、「1件のみ提出するものとし、複数提出した場合は、競争参加資格がないものとする場合がある。」とあるが、1件のみ求める理由は何か。</p> <p>Q 2. 工事技術的難易度が「やや難」となっているが、どのように判断したのか。</p> <p>Q 3. 予定価格を超過している業者の入札金額が他社に比べて著しく高い金額になっているが、どのような理由が考えられるか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p> | <p>A 1. 効率化の観点から、参加申請書提出時の資料作成が必要以上のものにならないよう配慮している。</p> <p>A 2. 工事技術的難易度の決定は、難易度評価表により、「設備条件」「技術特性」「据付条件」「社会条件」「マネジメント特性」「特別考慮要件」を総合的に判断し決定している。本工事については、「設備条件」として情報板と事務所との間のネットワークを構築する必要があること、「マネジメント特性」として他工事との調整が必要であることから、「やや難」と判断した。</p> <p>A 3. 積算価格のうち、情報板や観測機器等の機器の価格が大部分を占めている。機器の価格の差により入札金額に差が生じたと考えている。</p>  |

|  |   |
|--|---|
| <p><b>4) 一般国道9号北条バイパス災害応急復旧第2工事</b></p> <p>Q 1. 競争参加資格で求めている施工実績の同種工事は「コンクリート舗装工事」とあるが、総合評価で評価される企業の施工実績では「連続鉄筋コンクリート」が加点の対象となっているのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>                   | <p>A 1. 総合評価では、より同種性の高いものを評価している。</p>   |
| <p><b>5) 広島労災特別介護施設機械設備改修工事</b></p> <p>Q 1. 競争参加資格の要件はC等級であるにもかかわらずA等級の業者が参加申請をしているが、これは業者の勘違いによるものなのか。</p> <p>Q 2. 本工事の競争参加資格の等級をC等級としたのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>             | <p>A 1. 当該業者の等級は元々C等級であったが、平成29年度からはA等級となった。競争参加資格については東京の本社が手続を行い、入札参加については支店が手続をしていると聞いており、本社と支社の連絡に行き違いがあったのではないかと推察している。</p> <p>A 2. 予定価格の金額により入札に参加できる業者の等級を分けているためである。暖冷房衛生設備工事で予定価格が5,000万円未満の場合は参加できる等級がC等級となっている。</p>                                      |
| <p><b>6) 大山砂防自然環境調査(両生類)業務</b></p> <p>Q 1. 入札参加者4者のうち3者が調査基準価格に近い似通った金額になっているのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>  | <p>A 1. 積算に使用する標準歩掛は公表しており、結果的に3者の入札額が似通った金額になったものと推察している。</p>  |
| <p><b>7) 福山管内道路整備効果検討業務</b></p> <p>Q 1. 選定業者4者のうち3者の技術提案について評価テーマの的確性と実現性が同じ点数となっているのはなぜか。</p> <p>Q 2. 指名される要件に過去の同種業務の実績を求めると、新しい観点を持つ新規業者が参入できないのではないかと。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p> | <p>A 1. 整備効果や事業評価の検討業務は、過去から各地方整備局・各事務所が実施しており、業者によっては多くの受注実績があり、ノウハウを蓄積している。また、本業務が求めているテーマはごく一般的なものであり、各社とも高いレベルの技術提案がなされていたため同じ点数となった。</p> <p>A 2. 同種業務の要件を大きく緩和した場合、新規業者も参入しやすくなると考えられるが、技術提案の評価項目は変わらないため、結果的には整備効果や事業評価のノウハウを蓄積している業者の技術提案の評価が高くなると考えている。</p> |
| <p><b>8) 太田川管内電気通信施設保守</b></p> <p>Q 1. 競争参加資格の等級を本来等級のA等級に加え、B、C、D等級まで拡大をしているが、落</p>   | <p>A 1. A等級である。</p>   |

|   |  |
|---|--|
| <p>札業者の等級は何等級か。</p> <p>Q 2. 低入札となっているが、問題ないと判断した根拠は何か。</p> <p>Q 3. 前年度の落札業者及び金額は。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p> | <p>A 2. 低入札調査を実施したところ、労務費を適切に確保した上で、会社の諸経費を可能な範囲で削減し入札を行っていた。また、業者からは業務の実施にあたっては品質確保の徹底を図るという回答があり、手持ちの業務量、過去の実績状況、経営状況等を調査した結果、求める品質を確保できると判断した。</p> <p>A 3. 今年度と同じ業者が落札しており、契約金額は3,280万円である。</p> |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| <p>(3) 再苦情処理の報告</p> <p>該当事案なし</p>               |  |
| <p>平成29年度 入札監視委員会</p> <p>第3回定例会議（第一部会）の開催予定</p> | <p>平成29年12月8日（金） 14時30分～</p> <p>中国地方整備局 建政部 3階会議室</p> <p>抽出委員 水中委員</p> |